



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所
(一財)日本友愛協会

〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文ビル2階

TEL:03-5684-3188
FAX:03-5684-3186
E-mail:yuai@yuaiyoukai.com
http://yuaiyoukai.com

発行人：川手正一郎
編集人：

隔月1回 10日発行

年会費
2,000円

第十二回 臨時評議員会開催

新理事に芳賀大輔氏 小川巧次氏 満場一致で選任

新評議員に小沢鋭仁氏 公益目的支出計画遂行に向けて前進

平成二十八年十月十四日(金)午前十一時より、友愛サロン(日本友愛協会事務所三階)に於いて、第十三回臨時評議員会が開催された。これは先の鳩山邦夫副理事長、奥田吉郎理事の逝去による理事の欠員に対し、新たに理事を選任するためであり、併せて新評議員の選任も行われた。また、友愛山荘運営事業、情報発信事業、国際交流事業など、公益目的支出計画を遂行するための資金確保に関する議題も協議された。

評議員会は、冒頭九月二十一日に逝去された奥田吉郎理事に黙とうを捧げた。川手正一郎理事の進行で始まり、鳩山由紀夫理事長が次の様に挨拶を述べた。

鳩山由紀夫理事長挨拶

臨時評議員会ということ、評議員の皆様にはお忙しい中ご参集いただき、ありがとうございます。当協会の今後の協会運営の為に皆さまのお力をお寄せくださいと挨拶。

鳩山由紀夫理事長

会は大変な時に、創設以来の重鎮である奥田理事を失いました。本当に残念でありません。今後の協会運営のために、新たな理事を選任していただき、前に進んで行かなくてはなりません。併せて、責務である公益目的支出計画を遂行するために、資金の確保も重要な議案があります。滞り無く進行出来るようご協力をと挨拶。

井上和子評議員長

要なことで、本日は重要な案件をご協議いただきありがとうございます。よろしくお願ひ申し上げます。続いて井上和子評議員長が挨拶に立ち、次の様に述べた。

井上和子評議員長挨拶

本日は重要な協議議題が提示されています。内容に関

九月に逝去された奥田吉郎理事に、全員で黙とうを捧げ、評議員会を開始した

しては今理事長が述べた通りです。皆様のご協力を得て、滞りなく進行していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。定款第二五条に基づき、井上和子評議員長が議長につき、鳩山由紀夫理事長が本年度のこれまでの事業実施内容について報告を行

資金確保の方法、評議員選任・理事選任など重要議題を、全員で熱心に協議した



た後、協議が開始された。

協議事項

第一号議案 友愛山荘土地売却及び事業用定期借地権設定契約締結に関して

【参考資料】①土地売買契約書 ②事業用定期借地権設定契約公正証書 ③土地鑑定評価書類

第二号議案 利益相反取引締結に関して

【参考資料】土地鑑定評価書 時期別・鑑定士別 計3部

第三号議案 理事の選任に関して

【参考資料】理事会の推薦する者二名の経歴書

第四号議案 評議員の選任に関して

【参考資料】理事会の報告する者の経歴書

第一号議案、第二号議案は、相互に関連することから、合わせて協議され全会一致で承認された。これは、公益目的支出計画を遂行するための資金を確保するため、友愛山荘の土地を売却し資金に充てるため、

重要な資産の売却に対する評議員会の決議となる。また、友愛山荘の運営を続けるためにも、借地契約を交わす必要があり、土地売却にあたって状況を理解した上での取引が必要となるため鳩山由紀夫理事長に土地の購入及び賃貸をお願いすることとなり、双方の利益が相反することから、理事会に於いても数回にわたる慎重な審議を重ねた後、評議員会に諮ることとなったものである。

第三号議案 理事の選任においては、理事会の推薦する芳賀大輔、小川巧次の両氏が全会一致で選任された。

芳賀大輔、小川巧次の両氏は、現在日本友愛協会評議員を務めていることから、評議員の欠員も生まれることとなり、新評議員の選任へつながった。

第四号議案 評議員の選任については、理事会の報告する小沢鋭仁氏が全会一致で選任された。

新評議員小沢鋭仁氏は、現在衆議院議員であり日本友愛協会の前身である日本友愛青年協会では評議員を務めていた。

なお、新理事及び新評議員は、残存任期を務めることとなる。

予定の協議をすべて終え、評議員会は十二時に閉会した。

【公益目的支出計画】

公益法人法の改正による新法人移行の際、義務付けられた、日本友愛協会が実施すべき公益事業の内容及びその実施経費の額。平成三〇年度末に終了予定。

新評議員紹介

小沢鋭仁評議員
(おざわ さきひと)

現職：衆議院議員
山梨県出身 六十二歳



新理事長紹介

小川巧次理事
(おがわ こうじ)

現職：(株)ヴィアックス会長
大分県出身 六十五歳



芳賀大輔理事
(はが だいすけ)

現職：世界友愛フォーラム事務局長
北海道出身 六十二歳



友愛時評

米大統領選挙でドナルド・トランプ氏が当選した。一カ月前に女性蔑視発言の動画が流出してトランプ氏の人間性に対する批判が一気に高まり、対立候補のヒラリー・クリントン氏の勝利が確視される状況だっただけに、米国のメディアは驚くべき「狂わせ」と評している。トランプ氏は、選挙戦最終盤にコリミール長官がヒラリー候補の私用メール問題について再捜査に言及したこと、しぶとく望みをつないでいたわけだが、当落を左右する激戦州のほとんどを制した結果には世界中が驚愕した。六月の英国のEU離脱をめぐる国民投票の結果といい、ポピュリズム時代の選挙というのは本当に恐ろしい。次の焦点は、過激発言を繰り返してきたトランプ氏が、実際にどのような政権運営を行うかということになる。公職経験も軍人経験もない初の大統領の下、共和党権が八年ぶりということもあり、三千人にも及ぶ政治任用ポストの人々の政治・行政能力が未知数と指摘されている。▼選挙前に米国の大学教授と次期政権下での駐日大使候補に話が及んだ時には「ヒラリー当選なら主要なポストの候補はだいたいわかるが、トランプ陣営の方は聞いたことがない人ばかりで」と苦笑していた。▼もともと、昼寝を好み週二十時間しか執務しなかったとも言われる一九八〇年代のレーガン大統領や、劣等生を自認し他国の地理すらおぼつかかったブッシュ・ジュニア大統領など共和党権の先達を思い起こせば、大統領本人の資質に対する危惧は杞憂に終わるかもしれない。そう願うばかりである。(ヒゲ)

エヤップ
オーストリア勤労青年連盟 (ÖJAB) より派遣員来日
 学生とのフォーラム開催 広島平和記念公園での献花 京都で日本文化堪能
 10日間の日程を精力的に過ごし感動を胸に帰国



広島市庁舎、市長応接室で記念撮影。松井広島市長には、鳩山由紀夫理事長より親書が届けられた



松井広島市長にはお忙しい公務の中時間を割いていただいた。来日の二人もエヤップの姿勢を伝えた



原爆ドームを背景に。原爆資料館見学の後で、全員の面持ちがこわばっている



被爆者である小倉桂子さんから、被爆体験を聴講。全員の心に深く刻まれた出来事であった



小学生、中学生を交えてのフォーラム。鳩山理事長も真摯に自らの思い、友愛について話した



友愛サロンでフォーラムを開催。今、世界を見つめて何をすべきかなどをテーマに話し合いが進んだ

永年にわたり、友好関係を続けているオーストリア勤労青年連盟ÖJAB(エヤップ)から、今年も派遣員が来日した。

ペトラ・ハイドラーさん及びアドリアナ・バツサニさんのお二人で、どちらもエヤップで働く新進気鋭の女性達である。

八月二十七日(土)〜九月五日(月)までの十日間の滞在中、友愛サロンに於けるフォーラムの開催、広島市松井市長訪問、原爆資料館見学などのスケジュール

ルを精力的にこなし、九月五日元気に帰国した。

フォーラム開催
 長旅の疲れも見せず、八月二十八日(日)友愛サロンに於いてフォーラムを開催し、エヤップが取り組む世界平和の道、特に難民への対応などについて、資料を基に詳しく解説された。

フォーラムに参加したのは小学生を含む学生達で、次代を担う若者が活発に質問している姿には、未来に向けての可能性が示唆されていた。

フォーラム参加者
 及川瑛己(町田市立鶴川第二小学校六年)／金道熹(東京学芸大学附属国際中等教育学校三年)／辻就墨(静岡大学教育学部附属浜松中学校二年)／高見澤ひかる(開智中学校三年)／大熊凜(開智中学校三年)／金子珠里亜(お茶の水女子大学附属中学校三年)／木下貴香子(慶應義塾湘南藤沢高等部三年)／松田高幸(慶應義塾志木高等学校二年)／小島原知大(東京医科歯科大学医学部三年)

生)／本田夏菜(立教大学現代心理学部映像身体学科三年)／小林沙衣(慶應義塾大学法学部法律学科二年)

歓迎昼食会
 二十九日には、歓迎昼食会が開催され、鳩山由紀夫理事長、川手正一郎常務理事、戸澤英典評議員出席のもと、和やかな話し合いの時間が設けられた。

特にエヤップの希望は、今後の友愛協会との連携の上で、アフリカのブルキナファソを支援するプロジェクトに力を貸して欲しい旨が伝えられ、鳩山理事長も、詳細についての資料を基に、検討する旨を伝えた。

平和記念公園にて献花
 京都見学の後は、広島に移動。友愛協会創設者鳩山一郎先生の核兵器根絶の思いに添って、原爆資料館の見学、被爆体験者小倉桂子さんからの体験談の聴講など、世界平和に向けての思いを強くした。また、平和記念公園では献花をし、長い時間祈りを捧げていた。広島市のご好意で松井広島市長との面談の時間を設けていただくなど、例年の事ながら、来日した者にも、同行の大学生にも貴重な体験をさせていただくことが出来た。

同行の二人の感想文をご紹介します。報告いたします。

京都にて日本文化を堪能
 派遣員の二人は、同行の大学生二人と京都を訪問。浴衣に身を包み町を散策したり、清水寺・伏見稲荷・竜安寺と欲張りなスケジュールで見学・体験の二日間を過ごした。

The important thing is not just feeling sad but thinking how to make the best use of the experience for the future.

(大切なのは悲しみに浸るだけではなく、この経験から我々がいかにより良い未来をつくりたいか考えることだ)

これは広島市の平和記念公園訪問に訪れた際、ペトラさんが私に言った言葉です。

ÖJAB派遣員同行体験記
 慶應義塾大学法学部法律学科二年 小林 沙衣

今回、私小林沙衣は日本友愛協会及び慶應義塾大学井上教授のご厚意により、オーストリアからいらしたペトラさん、アドリアナさんを、京都と広島に四日間案内するという機会を頂きました。

日程としては、京都での、日本古都の文化やその趣きの享受を目的として二日間、広島には平和の再考を目的として、松井広島市長とお会いしたり、平和記念公園での献花や被爆者のお話を伺うなどの予定のもと、二日間滞在致しました。

今回の経験を文章にして皆様にお伝えすることになりましたので、私がこの四日間で印象に残ったことを記して、貴重な体験をさせて頂いた私の感想とさせていただきます。

.....

原爆資料館には、焼け焦げたお弁当箱が、洋服が、病に苦しみながら亡くなった方々の熱い視線を映した写真がありました。言葉では表すことができないほどの悲愴な事実です。

しかしながら、個別の事実を憂い恐れるのではなく、そこから何を今自身ができるのか考えること。これが現代社会を生きる者の責務だとペトラさんの言葉は示していると私は考えます。

イスラム過激派の横暴、ソマリアなど絶えぬ内戦、核の脅威。私たちがもう一度戦争について考えなければならぬ時は想像以上に近くに迫っています。お二人が今回の広島訪問を経て、平和協力への具体的な精神的行動を再確認したように、私も自身の中で今回の訪問を消化し将来の糧にしていきたいと強く感じました。

お二人とは夕食時などに平和以外の移民問題など世界が抱える問題についても話し合いました。

島国日本と内陸国オーストリア、今まさに学びの徒である大学生と、学を実践し実際に活動している大

戦争の惨禍について考える機会も多かったようです。そのうえで、世界を舞台に活躍なさるペトラさんのこの言葉は非常に重要な意味を持つでしょう。

原爆資料館には、焼け焦げたお弁当箱が、洋服が、病に苦しみながら亡くなった方々の熱い視線を映した写真がありました。言葉では表すことができないほどの悲愴な事実です。

しかしながら、個別の事実を憂い恐れるのではなく、そこから何を今自身ができるのか考えること。これが現代社会を生きる者の責務だとペトラさんの言葉は示していると私は考えます。

イスラム過激派の横暴、ソマリアなど絶えぬ内戦、核の脅威。私たちがもう一度戦争について考えなければならぬ時は想像以上に近くに迫っています。お二人が今回の広島訪問を経て、平和協力への具体的な精神的行動を再確認したように、私も自身の中で今回の訪問を消化し将来の糧にしていきたいと強く感じました。

お二人とは夕食時などに平和以外の移民問題など世界が抱える問題についても話し合いました。

島国日本と内陸国オーストリア、今まさに学びの徒である大学生と、学を実践し実際に活動している大

ももちろんこの他にも、プラン作成力の実際を拝見したり、海外の方の日本の印象などをお聞きしたり、日常の勉強では学べない多くのことを学びました。全てにおいて、これからの道を模索している私にとって、新鮮であり、発見であったと感じています。

最後になりますが、このような貴重な機会をくださった山先生及び井上教授、そして日本の豊かな文化で彩られた四日間を共に過ごした同行の四人に心からの感謝を込めて筆をおきます。

慶應義塾大学法学部法律学科二年



清水寺での記念撮影。右から二人目が筆者小林沙衣さん

清水寺での記念撮影。右から二人目が筆者小林沙衣さん

この経験こそが、私が今回得た最も意味あるものだと思います。

もちろんこの他にも、プラン作成力の実際を拝見したり、海外の方の日本の印象などをお聞きしたり、日常の勉強では学べない多くのことを学びました。全てにおいて、これからの道を模索している私にとって、新鮮であり、発見であったと感じています。

最後になりますが、このような貴重な機会をくださった山先生及び井上教授、そして日本の豊かな文化で彩られた四日間を共に過ごした同行の四人に心からの感謝を込めて筆をおきます。

慶應義塾大学法学部法律学科二年



エヤップの二人のたつての願いで、谷中の鳩山家のお墓に墓参り。真剣な面持ちで手を合わせていた。



鳩山家の象徴の一つ、鳩山会館を見学。素晴らしい歴史が残されていると感激の面持ちだった。



鳩山由紀夫理事長を囲んで。歓迎昼食会が開催され、日本料理にキレイ！オイシイ！の連続。



京都では日本の伝統文化体験として着物(浴衣)に着替え、街を散策。同行の二人も同じ体験を。

OJAB派遣員同行体験記 友愛が目指す平和な世界

日本友愛協会囑託・翻訳家 河口ハルトマン・ミヒヤエラ

日本友愛協会との初めての出会いは三年半前で、友愛ドイツ歌曲コンクールで優勝した、友人のソプラニスト藤井玲南様のご紹介がきっかけでした。

私はドイツのミュンヘン出身で、子供の頃から日本に興味があり、大学でも日本学を勉強しました。卒業後、日本で一年間だけ留学と想ったのですが、そこからあつという間に二十五年が経ち、今では日本が第二の故郷です。

友愛の理念(相互尊重、相互理解、相互扶助)を聞いた時に、本当に感動しました。日本友愛協会及びオーストリア勤労青年連盟(OJAB)との長い交流の歴史と深い友情関係も素晴らしいと思いました。



世界遺産厳島神社・宮島を見学。暑い陽ざしの中元氣に行動。写真左端は筆者ミヒヤエラさん。



訃報

奥田吉郎理事のご逝去

畏友奥田吉郎氏の逝去を悼む

日本友愛協会 常務理事 川手正一郎

突然の訃報に、心の中に大きな空洞ができ、二ヶ月も経ったのにまだ埋まりません。長い間、友愛で培った宿命を感じます。

九月十六日の理事会では元気に質疑し、久しぶりに奥田節を拝聴しました。会者定離は世の定めとは申せ、この六十三年間、それぞれの分野で心を合わせ、友愛のエンジンを負し、今日に至りましたこと

十九日、友愛結成大会当日でした。初対面でなんとなく気が合い、五月三日友愛事務所得意気投合、一緒に友愛を行動に移そうと誓いました。「その時の出会い

思い出となりました。それから、友愛移動文化映画班、歯科診療班で連続三年、夫々四十五日間、友愛思想や新生活運動について地元青年達と熱心に懇談したこと。その折、同行のグループで友愛の未来や人生観について熱心に話し合い、共感し、握手したこ

が人生無上の喜びであり、誇りであり、私の命です。静岡二区での衆議員選、三島市長選、苦しい思い出や感動、いつも厳しい闘いでしたのに困った顔ひとつせず、堪えに堪え、自力で未来を拓き、功成り、名を遂げ、晩節は友愛とともに人生を全うされた大兄に、心から敬意を表するとともに、おしみなない賛辞を捧げます。

合掌

新講座開設 論語に学ぶ友愛 参加者募る!

東アジア協同体研究所・日本友愛協会 共同事業として

日本友愛協会では、鳩山由紀夫理事長が同じく理事長を務める一般財団法人東アジア協同体研究所と共催で、新たな講座を開講する。

「論語に学ぶ友愛」と名付けられたこの講座では、論語を読み解きながら、古来より人間としての心の中にある友愛の理念を学んでゆ

くものです。講師に、全国各地で論語の講座を開き、また論語に関する著書も多数、斯界の第一人者である安岡定子先生をお招きし、楽しく論語を学べる絶好の機会となるよう企画されています。

安岡定子先生には、ご多忙の中、本講座開設のため多大なご協力を頂きました。

全五回の講座予定で、最終回の第五回には、それまで学んだ論語に見出した友愛などをテーマとした、鳩山由紀夫理事長による講座が予定されています。詳細は同封のチラシをご覧ください。

*参加希望の方は、同封ハガキに必要事項記入の上お申し込みください。
*定員に達し次第締め切りとさせていただきます。

新講座開設 論語に学ぶ友愛

日本友愛協会・東アジア共同研究 共催

講師：安岡定子先生

1960年東京都生まれ。二松学舎大学文学部中国文学科卒業。安岡正篤(蘭明学者・思想家)の次男・正泰(思想家・安岡正典記念館館長)の長女。現在、『銀座寺子屋こども論語塾』『蘭文会・瀧島聖堂こども論語塾』等全国各地で23講座を開講。幼い子どもたちやその保護者に『論語』を講義している。また成人のために講座も各地で開催。テレビ出演する等幅広い活躍を続けている。『安岡定子の懐かしい論語』CD集をはじめ著書多数。

クーデンホーフカレルギ一伯の唱えた Fraternity は、鳩山一郎によって「友愛」と訳され、日本友愛協会・東アジア共同研究の理念の礎となっています。しかしこの言葉は、西洋独自の言葉ではなく、例えば中国の思想家である墨子は、「兼愛」という言葉で、差別のない世界を説いています。このように洋の東西を問わず、友愛は人間が生きていく上で必要といえるでしょう。世界をみても、国内をみても今ほど友愛の理念が必要とされている時はありません。孔子とその弟子たちが残した『論語』をひもとき、友愛の理念を探求的な旅をしてみませんか?

開催要項

開催日時：第一回 平成29年2月11日(土) 午後2時~4時
場 所：友愛サロン(日本友愛協会事務局3階)
定 員：30名(先着順、定員になり次第締め切り)
申し込み：参加申込書に必要事項を記入し、日本友愛協会宛送付
参加費用：3000円(テキスト代金他・全五分回)
問い合わせ：日本友愛協会事務局 または 東アジア共同研究事務局
TEL. 03-5684-3188 TEL. 03-5251-8108

次回以降の開講予定(実施日は後日連絡)

第二回 4月中旬、第三回 6月下旬、第四回 9月上旬、第五回 11月中旬
時間はいずれも午後2時~4時 ※第五回は、鳩山由紀夫理事長による講座

お申込みは
※同封の返信ハガキ(参加申込書)に必要事項を記入の上ご投函ください。

*講座についてのお問い合わせは、日本友愛協会事務局まで 電話 03-5684-3188
*テキスト等は、受講者決定後、直接ご案内申し上げます。
*定数に達し次第締め切りとさせていただきます。

平成28年度 文部科学大臣賞

— 一般財団法人 ドイツ歌曲普及協会 主催 —

第27回 日本ドイツ歌曲コンクール

(前 友愛ドイツ歌曲コンクール)

ドイツ歌曲普及協会は、一般の音楽文化に対する理解を深め、ドイツの宝ともいえるドイツ歌曲の認知度を高め、プロアマチュアを問わず年齢制限なく、ドイツ歌曲を学びながら技術・芸術の機会を設けるものです。『ヨーロッパ音楽を通して日本人の精神文化の向上に貢献する』という理念を掲げて本コンクールを開催いたします。

参加資格 満18歳以上(平成28年4月1日現在)年齢制限なし。
国籍、学歴、音楽歴は問いません。
A: 学生の部(18歳~24歳までの在学生・大学生を除く) B: 一般の部

応募方法 所定の申込用紙に必要事項を記入し、実行委員会まで郵送(参加料事前送込のこ)。
課 題 A: 予選(第一・第二・第三・第四・第五・第六・第七・第八・第九・第十・第十一・第十二・第十三・第十四・第十五・第十六・第十七・第十八・第十九・第二十・第二十一・第二十二・第二十三・第二十四・第二十五・第二十六・第二十七・第二十八・第二十九・第三十・第三十一・第三十二・第三十三・第三十四・第三十五・第三十六・第三十七・第三十八・第三十九・第四十・第四十一・第四十二・第四十三・第四十四・第四十五・第四十六・第四十七・第四十八・第四十九・第五十・第五十一・第五十二・第五十三・第五十四・第五十五・第五十六・第五十七・第五十八・第五十九・第六十・第六十一・第六十二・第六十三・第六十四・第六十五・第六十六・第六十七・第六十八・第六十九・第七十・第七十一・第七十二・第七十三・第七十四・第七十五・第七十六・第七十七・第七十八・第七十九・第八十・第八十一・第八十二・第八十三・第八十四・第八十五・第八十六・第八十七・第八十八・第八十九・第九十・第九十一・第九十二・第九十三・第九十四・第九十五・第九十六・第九十七・第九十八・第九十九・第一百) 10分以内、一般の部 13分以内とする。
● 自由曲：指定曲以外のドイツ歌曲を2曲、同一作曲家の曲も可。
● 自由曲：指定曲以外のドイツ歌曲を2曲、同一作曲家の曲も可。
B: 本選(演奏開始は演奏開始から終了まで学生の部 10分以内、一般の部 13分以内とする。但し、シューベルトの歌曲と日本歌曲を各1曲ずつ含むこと(日本歌曲は3分以内とする))。

参加料 20,000円(一般の部) 15,000円(学生の部)
受付期間 平成28年9月12日(月)~9月27日(火)必着

コンクール日程

予選(学生) 日程：平成28年10月25日(水) 10:30~20:00
会場：西谷区民ホール(東京都新宿区西谷2-7) 公開 入場料 500円
予選(一般) 日程：平成28年11月1日(火) 15:00~20:00
会場：文京シビックホール小ホール(東京都文京区春日1-16-21) 公開 入場料 500円
本選 日程：平成28年11月30日(水) 16:10 開場 16:40 開演
会場：文京シビックホール小ホール(東京都文京区春日1-16-21) 公開 全席自由 2,000円

賞 第一回：表彰状・賞金5万円(文部科学大臣賞) 第二回：表彰状・賞金10万円
第三回：表彰状・賞金2万円
第四回：表彰状・賞金10万円
第五回：表彰状・賞金10万円(学生の部より1名) 第六回：表彰状・賞金5万円
第七回：表彰状・賞金3万円 第八回：表彰状・賞金5万円 第九回：表彰状・賞金5万円
第十回：表彰状・賞金3万円

審査員 小松 英典 高橋 三三 Stephan Seebass 野村 一 渡辺 俊幸
協 賛 株式会社 富士薬品 株式会社 味覚糖 ドレスルーム アニ
力 株式会社 音楽之友社 株式会社 河合楽器製作所
後 援 外務省 文部科学省 ドイツ連邦共和国大使館 皇族御用掛人 日本演奏連盟

応募要項・申込書はホームページからダウンロードできます。

一般財団法人 ドイツ歌曲普及協会
Deutsch Japanische Kulturgesellschaft

第27回 日本ドイツ歌曲コンクール

詳細についてはドイツ歌曲普及協会のホームページをご覧ください。http://djkg.org
会場：文京シビック小ホール(文京区役所ビル二階)
*チケットは当日会場にてお求めいただけます

第二十七回日本ドイツ歌曲コンクール(前友愛ドイツ歌曲コンクール)本選会が、十一月三〇日(水)文京シビックホールで開催される。昨年まで日本友愛協会が主催していた本コンクールは、今年度よりドイツ歌曲普及協会の主催として継承されている。本年度も多くの参加者の中から本選会に進んだ精鋭十三名が、その歌声を披露する。新たなスタートを切った本コンクールに、エールを送ります。

トピックス …… 秋 二題



秋の雰囲気をお二題お届けします。

上の写真は、鳩山会館です。バラの館として五、六月には沢山の方が見学に訪れますが、意外と知られていないのが「秋のバラ」今まさに秋バラが真っ盛りで、春のバラとはひと味違う趣を見せています。カラーでお届け出来ないのが残念ですが、このバラは鳩山一郎先生がお好きだったバラで、薄い黄色、クリーム色よりは透明感のある上品な色合いです。

都内でも有数の西洋館の一つに数えられている鳩山会館の建物を背景に咲くバラは、一際優雅で、見応えがあります。

この機関紙『友愛』がお手元に届く頃には、盛りを過ぎてしまっているかも知れませんが、まだ咲いている品種もあると思います。

鳩山会館の秋バラ
鳩山和夫先生と春子奥様の像が、美しい景色にとけ込んでいる

秋の一日、鳩山会館見学を計画に入れて、東京散歩を楽しんでみては如何でしょうか?

下の写真、これもカラーでお届け出来ないのが非常に残念です。東京の秋の空に現れた「ひつじ雲」です。東京でも珍しい程の真っ青な空に、モコモコと現れた羊の群の様な雲・雲の名前としては高積雲・調度太陽が真裏から照らして、ほれほれするほど美しい景色でした。これももっと細かいとウロコ雲とか、イワシ雲と呼ばれるのでしょうか。風に少しづつ形を変えていく様子面白く、羊の群はどこへ行くのだろうかなどと、メルヘンチックな気持ちになります。

ちになりながら眺めていました。天候不順だった今年ですが、秋の一日、青空の下、自然の美しさ発見散歩などいかがでしょうか?

東京(練馬区大泉学園駅付近)にもこんな青空が。自然の見える表情は、時として最高の芸術だ

時事川柳 服部道夫 作

— 二郎氏・当選 — 鳩山家語り継がれる道があり
— 大統領選 — アメリカの未来を託す小競り合い
— 神出鬼没 — 公園の景色を変えるポケモンGO
— 十七歳アマ初制覇 — 代替わり大きく進む女子ゴルフ
— 会場問題 — こんな時期パッハ会長お出ました
— 時代を牽引 — ラグビーに花を咲かせて逝く平尾
— 最新少記録破る — 将棋界一二三の動揺隠せない
— 二十五年ぶり — 日本を真っ赤に染めるカープ熱

機関紙『友愛』原稿募集

機関紙『友愛』に皆様のご投稿をお待ちいたしております。内容は、ボランティア活動の報告、地域の名物の紹介、季節のお便り等々、何でも結構です。ご自慢の写真も大歓迎です。皆様の『友愛』に奮ってご投稿ください。詳しくは事務局までお問い合わせください。
締切り：特に設けません。いつでもご投稿ください。掲載ご希望の月がある場合は、2ヶ月前に原稿が届くようお願いいたします。
要 領：手書き原稿・データ原稿・メールでの投稿何でも対応可能です。
写 真：紙焼き(カラー・白黒)・デジタルデータどちらでも。
送り先：日本友愛協会事務局 宛

編集後記

◆時代の変化に伴い友愛も多くの経験と実績を重ねて来ましたが、いつになっても「なお足らざるを憂う」の心境に変わりありません。そして友愛の課題は何か、常に自分に問うております。

特に次世代に対する取組みにつきましては、ベースとなる考え方や行動をどう伝えてゆくのか気になるところです。

友愛に関する研究会や塾の再開も視野に新たな指針を構築すべき時ではないでしょうか。

ともすれば、むき出しの欲望や感情に振り回される国家や人間の現状に、友愛思想伝播の必要性を痛感する昨今です。(K)

◆秋の恒例行事、紅葉狩りでも運動会でもなく、中国国際青年交流中心の王部長とのやり取りです。友愛写真コンクールの入選作を決めるにあたって、日中双方の意見が、真つ向から対立することがあるのです。文化、慣習の違い等理由は様々ですが、是とする事と否とする事がここまで違うのかと毎年驚かされます。そして担当の王部長と、電話で意見を述べ合い…という聞こえは良いのですが、互いに譲らぬ戦い状態。友愛の精神は? と言われそうですが、大丈夫、互いに互いの違いを理解した上でやり取りです。それが証拠に表彰式では、感謝の抱擁です。(も)